

第27回東京国際映画祭 日本映画スプラッシュ部門正式出品

世界が認めたドキュメンタリー映画『抱擁』、明日4/25(土)公開！

ハリー杉山氏ら豪華ゲストトークも開催

クリエイティブなどのプロフェッショナル・エージェンシー事業を展開する株式会社クリーク・アンド・リバー社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:井川 幸広)が制作協力を行なった、日本人の老後の現実と希望を描いたドキュメンタリー映画『抱擁』(英題:Walking with My Mother)が、明日4月25日(土)より渋谷のシアター・イメージフォーラムにて公開をスタートいたします(以降、大阪・名古屋・鹿児島ほか全国にて順次公開)。また、6月2日(火)からドイツのフランクフルトで開催される世界最大の日本映画祭「NIPPON CONNECTION 2015」のNippon Visions部門のオープニングフィルムとして正式上映が決定いたしました。

本作は、第27回東京国際映画祭で上映されるや、衝撃のあとに押し寄せる深い感動、ユーモアと涙が観客を包み、話題を呼んだドキュメンタリー。娘と夫を亡くし、老いの孤独と絶望、精神の混乱に陥った女性が、郷里の島の暮らしの中で、再び生きる希望を取り戻していくまでの姿を、息子である監督自らが4年間カメラを向けた作品で、先頃行われた日本外国特派員協会での試写会・記者会見でも大きな反響と共感をよび、坂口監督に多くの外国人記者から熱心な質問が飛びかいました(記者会見の様子:<http://www.fccj.or.jp/events-calendar/film-screenings/movie-committee-blog/item/587-wwmm.html>)。

日本の65歳以上の高齢者人口は、過去最高の3190万人で総人口に占める割合(高齢化率)は25.1%と過去最高(平成26年版内閣府「高齢社会白書」という現代社会。独身の息子が、離れて暮らす親に突然介護が必要になった時、どうすれば良いのか。そして「第4の人生」ともいふべき、高齢となり夫や妻を亡くし独りになった時、その後の人生をどう生きていくのか、「老後を幸せに生き抜く一つの答」を本作は提示している極めて画期的で稀有なドキュメンタリー作品となっております。

映画「抱擁」劇場公開中、第27回東京国際映画祭フェスティバルナビゲーターを務め、映画「抱擁」にも絶賛のコメントを寄せたタレントのハリー杉山氏などをお迎えし、坂口香津美監督とのゲストトークも開催いたします(スケジュールは下記参照)。

映画『抱擁』ゲストトーク 概要

場所:シアター・イメージフォーラム 東京都渋谷区渋谷2-10-2 地図:<http://www.imageforum.co.jp/map/>

上映開始時間:10:30、21:15(毎回、英語字幕入り)

*4/28(火)~5/6(水)21:15の回は休映

日時	ゲスト
4月25日(土) 12:03~ (10:30の上映後)	ハリー杉山氏(タレント、昨年の東京国際映画祭フェスティバルナビゲーター)
4月25日(土) 21:15~ (映画上映前)	【舞台挨拶】坂口香津美監督ほかスタッフ
4月26日(日) 12:03~ (10:30の上映後)	矢田部吉彦氏(東京国際映画祭プログラミングディレクター)
4月29日(水) 10:30~ (映画上映前)	斎藤環氏(精神科医)
5月3日(日) 12:03~ (10:30の上映後)	尾上正幸氏(終活アドバイザー)
5月8日(金) 22:28~ (21:15の上映後)	ヴィヴィアン佐藤氏(美術家)
5月9日(土) 12:03~ (10:30の上映後)	【出演者挨拶】坂口すちえ氏(映画の主人公、監督の実母、84歳) 宮園マリ子氏(出演、坂口すちえ氏の妹)

*是非、この機会に取材にお越しくさせていただきますよう、よろしくお願ひいたします。
(取材を希望される場合は、事前にご連絡ください)

【取材のお問い合わせ】

株式会社スーパーサウルス(製作配給) 担当:落合(プロデューサー・宣伝)

携帯:090-2621-3736 TEL:03-3551-5530 FAX:03-6893-6516

E-MAIL: info@supersaurus.jp

ドキュメンタリー映画『抱擁』作品情報

日本人の老後の現実と希望を描く感動作
母の心の闇と愛、息子が撮った4年間



第27回東京国際映画祭 日本映画スプラッシュ部門正式出品
『抱擁』

監督・撮影：*坂口香津美
出演：坂口すちえ、宮園マリ子、坂口諭
音楽：大沢充奈
音響デザイン：山下博文
編集：坂口香津美、落合篤子
特別協力：クリーク・アンド・リバー社
製作・配給：株式会社スーパーサウルス
(英題 Walking with My Mother / 2014年 /
93分 / 16:9 / カラー / 日本)

*監督・撮影/坂口香津美...TVドキュメンタリーを約200本企画
構成演出。映画は『ネムリユスリカ』『夏の祈り』など6作を監督。
次回作、津波で家族を失った幼い姉妹の心の旅路を描く劇映
画『シロナガスクジラに捧げるバレエ』(音楽:海野幹雄、新垣隆)
が今年9月下旬よりユーロスペースにて公開。

■株式会社クリーク・アンド・リバー社 会社概要

社名:株式会社クリーク・アンド・リバー社

本社:東京都千代田区麹町2-10-9 C&Rグループビル

設立:1990年3月

代表者:代表取締役社長 井川 幸広

ネットワーク:東京・大阪・札幌・仙台・大宮・横浜・名古屋・京都・高松・広島・福岡・熊本・那覇 / ソウル・上海・北京

事業内容:クリエイティブ・建築・ファッションのプロフェッショナルに特化したエージェント、プロデュース、アウトソーシング、
著作権及びコンテンツの管理・流通。グループには、医療・IT・法曹・会計分野がある。

URL:<http://www.cri.co.jp> | <http://www.creativevillage.ne.jp> (クリエイターのための情報サイト「CREATIVE VILLAGE」)

本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社スーパーサウルス(製作配給) 担当:落合 info@supersaurus.jp

TEL:03-3551-5530 FAX:03-6893-6516 :090-2621-3736

株式会社クリーク・アンド・リバー社 経営企画部 creek@hq.cri.co.jp

TEL:03-4550-0008 FAX:03-4550-0018 URL:<http://www.cri.co.jp>